



# 優 秀 賞

取組名：多文化共生★蔵の街清掃活動



取組団体 ●とちぎネパールコミュニティ ●栃木市国際交流協会



〈清掃活動前のミーティング〉



〈大通りでのゴミ拾い〉



〈拾ったゴミを分別〉

## 取組の概要

栃木市内及び近隣在住ネパール人で組織する「とちぎネパールコミュニティ」は、栃木市国際交流協会と協働して、栃木駅周辺や市中心部の大通りでの清掃活動を通じて地域貢献を行っている。

- ・平成 29（2017）年 6 月取組開始。
- ・「とちぎネパールコミュニティ」は、地域住民から理解を得られるよう清掃活動を実施。
- ・実施にあたっては、栃木市国際交流協会に相談。
- ・栃木駅から万町交番までの約 1.5 km の区間のゴミ拾いを年 2 回程度実施。

## 取組の成果

- ・清掃活動を地道に行うことで、広く活動が認知され、地域住民のネパール人に対する理解が進んだ。
- ・ネパール人自身も清掃活動に参加することで地域住民の一員であるという意識が芽生え、日常生活を送る上でのマナーを遵守するようになり、更に防災活動にも参加するようになった。
- ・ゴミ拾いは大通りのほか、脇道や川沿いの歩道を歩いて行い、普段は目の届かない所もきれいになり、蔵の街並みの景観維持に寄与している。

## 活動の展望

- ・今後は、地域住民の参加も呼びかけ、清掃活動を通じた多文化共生の実現を推進していく。

問合せ 栃木県県民生活部県民文化課県民協働推進室  
〒320-8501 宇都宮市埜田 1-1-20  
電話 028-623-3422 FAX 028-623-2121

# 令和3(2021)年度 第5回



## 表彰事例の紹介

栃木県では、NPO・ボランティア団体と企業、大学、社会福祉法人、コミュニティ団体等が地域の課題を解決するため、それぞれの特性を生かしながら協働して取り組む社会貢献活動を「輝く“とちぎ”づくり表彰（栃木県知事賞）」として表彰しています。

第5回目となる令和3（2021）年度は、最優秀賞1取組6団体、優秀賞2取組8団体を表彰しました。



令和3(2021)年度輝く“とちぎ”づくり表彰表彰式〔令和3(2021)年11月18日 栃木県公館にて〕



# 最優秀賞

取組名：地域の方々と温かい触れあいで自立援助  
ができる笑顔あふれるコミュニティづくり



- 取組団体 ● 生きいきこっとな村 ● 特定非営利活動法人福聚会 ● きびがら工房  
● 特定非営利活動法人 CCV ● 宇都宮大学農学部生物資源科学科植物育種学研究室  
● 栃木県立栃木農業高等学校農業環境部地域デザイン班



〈こっとな村看板〉



〈種まき作業〉



〈小箒づくり〉

## 取組の概要

鹿沼市千渡地区において、近隣農地を有効活用し、野菜や綿花、箒の原材料の栽培、及びその商品化・販売を通して、地域の高齢者、障がい者、引きこもりがちな人等が参加することで地域の住民同士が支え合う取組が展開されている。

- ・平成 28(2016) 年 4 月取組開始。
- ・近隣農地を有効活用した農作物の栽培や特定非営利活動法人福聚会が運営するデイサービス施設の休館日を利用した手芸作業を実施。
- ・特定非営利活動法人 CCV が、高齢者や障がい者等の個人の特性に応じた作業を行えるようアドバイス。
- ・デイサービス施設利用の高齢者が、農作業をする発達障がい者やひきこもりの方を支援。
- ・収穫した農作物を販売する直売所や、年間 1,000 円の寄付金で旬の野菜を届ける「野菜ファンド制度」を創設し、資金を調達。
- ・地域住民の理解促進のため、四季折々にイベントを開催。
- ・宇都宮大学農学部が技術指導し、栃木農業高校が栽培支援。

## 取組の成果

- ・発達障がい者やひきこもりの方、その家族の居場所ができた。
- ・発達障がい者やひきこもりの方が高齢者（通所デイサービス利用者）と一緒に農作業することにより家族以外の大人との関わり方を学ぶことができ、また、高齢者は知識や経験を活かし、生きがいを持つことができた。
- ・地域住民との交流・触れあいが生まれている。
- ・発達障がい者等の活動が就労の場（B型就労支援）に発展した。
- ・県指定伝統工芸品『鹿沼箒』の原材料づくりを通じて、地域の高校生・大学生・高齢者との交流を生み、伝統文化の継承とともに農福連携や福祉教育に貢献した取組ができた。

## 活動の展望

- ・事業に取り組む人たちの思いと協働の理念を大切にしながら、相互補完し合う社会づくりを目指し、弱者が安心して暮らしていけるように努める。
- ・栃木県伝統工芸品『鹿沼箒』の原材料の栽培に加え、小箒製造を習得して、こっとな村製の伝統工芸品製作を目指し、農福連携のモデルケースとなるモチベーションを図る。

## 輝く“とちぎ”づくり表彰制度

### ■表彰の対象となる取組

- 次に掲げる要件をすべて満たす取組であること
- ・栃木県内に事務所を有する NPO・ボランティア団体が主体となり、企業、大学、コミュニティ団体等との協働の取組であること
- ・栃木県内で現在継続中の取組であること（新型コロナウイルス感染症の影響により中止されているものを除く）
- ・行政機関からの委託による取組ではないこと



# 優秀賞

取組名：地域の宝『礒山』を守り・育て・活かす



- 取組団体 ● 礒山とゆかいな仲間達 ● ふれあいの森いそやま  
● 真岡児童館やさしクラブ ● 真岡ふたば幼稚園  
● いちごの杜保育園 ● 真岡めばえ保育園



〈落ち葉さらい作業〉



〈環境美化活動作業〉



〈礒山における自然体験〉

## 取組の概要

真岡市の南東部に位置する『礒山』において、里山林の環境整備や環境美化活動が行われ、また、里山林が子どもへの自然体験・環境教育の場として活用されることにより、世代間交流と協働による活動が行われている。

- ・平成 21(2009) 年 4 月取組開始。
- ・礒山での清掃や下草刈りなどの環境保全活動は年に 8 回程度実施され、主に「礒山とゆかいな仲間達」、「ふれあいの森いそやま」、「真岡児童館やさしクラブ」が中心となって実施している。
- ・自然体験・環境教育を「真岡ふたば幼稚園」、「いちごの杜保育園」、「真岡めばえ保育園」において、年に 45 回程度実施しており、その活動の安全確認や見守りなどを環境保全活動を実施している 3 団体が行っている。

## 取組の成果

- ・環境整備や環境美化活動が行われた『礒山』は、地域にとって美しい自然が残る貴重な場所となっている。
- ・『礒山』が自然体験・環境教育の場として活用され、自然とのふれあいを通して多くの幼児の豊かな想像力・発想力が育まれている。
- ・幼児による自然体験・環境教育の際に、安全確認や見守りなどの協力活動が行われ、『礒山』を通じた世代間交流と協働が展開されている。

## 活動の展望

- ・「礒山とゆかいな仲間達」と「ふれあいの森いそやま」において、活動に協力してくれるボランティア参加者を維持していく。
- ・「真岡児童館やさしクラブ」においては、低学年でも理解でき、楽しくなるような活動を取り入れていく。
- ・幼稚園・保育園等においては、引き続き保護者の理解や地元自治会等の協力を得て、幼児が楽しく自然にふれあえる時間を提供していく。

### ■評価項目

創意性、連携度、成果、継続性・発展性の観点から総合的に評価

### ■応募方法

自薦又は他薦

その他、詳細はホームページをご覧ください。

輝く“とちぎ”づくり表彰

検索